

第1回名寄市都市計画マスタープラン見直し及び

名寄市立地適正化計画策定委員会 議事録

日時 平成30年6月14日(木) 午後6時00分～7時30分

場所 名寄市役所 4階 大会議室

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 委員長・副委員長選出

委員長 松前 衛委員

副委員長 梅野 新委員

5. 正副委員長あいさつ

6. 経過説明

～まちづくりの現状と課題～(資料1)説明

- 名寄市の総人口は、1960年(昭和35年)をピークにその後減少の一途をたどっている。年少人口、生産年齢人口も総人口に沿って減少傾向にあるが、老年人口は一貫した増加傾向にあり、その割合も増加傾向となっている。
- 商業・医療・福祉等の機能が立地し、持続的に維持されるためには、機能の種類に応じる圏域人口が求められる。(地区人口規模が5千人→地区診療所、1万人→食品スーパー、3～5万人→地区病院、商店街・百貨店等)
- 老朽化する都市施設が多く維持するための修繕コストが増加。今後40年間、すべての公共施設をすべて保有し続けた場合の必要コストは、40年間で年平均77.7億円となる。
- 人口密度と一人当たりの行政コストは(行政経費)との間には一定の関係があり、今後、財政状況がさらに厳しさを増すと見込まれる中、持続的な都市経営をするためには人口密度を高め、行政の効率化を図ることが不可欠。
- コンパクトシティ化の実現に向けて様々な取り組みを進めてきたが、このまま人口減少や少子高齢化がさらに進むと産業の停滞のおそれもある。

- 都市計画マスタープラン見直し及び名寄市立地適正化計画策定のイメージ
名寄市民が、医療・福祉施設、商業施設など生活サービスを提供する施設に、自動車に頼りすぎずにアクセスできるまちづくりを目指す。

～名寄都市計画マスタープラン見直し及び名寄市立地適正化計画策定の制度説明～
(資料2) 説明

- 都市計画マスタープランとは
 - ・ 望ましい『将来都市像』を示し、都市計画に係る各種の施策を総合的かつ体系的に展開するための『基本方針』。平成4年に都市計画法が改正され、都市計画マスタープランの策定が責務となった。
 - ・ 名寄市都市計画マスタープランは2008年に策定され、概ね20年後(2028年)を目標としている。10年毎に見直しをする。
- 立地適正化計画とは
 - ・ 平成26年に都市再生特別措置法が改正され、立地適正化計画制度が創設。
 - ・ 都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取り組みを推進する。
 - ・ 立地適正化計画を策定することで、該当する施設設備に国の支援が得られる。
 - ・ どのようなまちづくりを目指すのか(方針)を明確にし、都市の現状と将来を展望したうえで、都市の課題を分析する。
 - ・ 「誰を」「どこに」誘導するかと、その誘導のためにどのような施策を講じるかを一体的に検討する。

～意見交換～

- 公共施設などが疎らに立地していて公共交通にも限界があるうえ、自家用車の普及がかなりある。車に頼りすぎずアクセスできるまちづくりというのは難しいかもしれないが、上手に共存させることが必要。
- 国からあまり補助金が出ないなか、施設の維持管理を市でやっていくとなると負担がかかりすぎてしまう。民間活力を利用しながら補助金をうまく活用できないか。
名寄市は待機児童を多く抱えているので職場に戻るのが難しいという人もいる。この課題も民間で企業内保育園を作ることによって解決することができるのではないかと。
- 名寄市の場合は市立病院があり、市民半分、市外の人半分というような状況で利用されていることを考えると市外からのアクセスも課題となる。
- 都市計画マスタープランは計画の必要性や妥協性を定量的に提出できるものとなるのか。また計画の進捗をあげるため土地の所有者からの理解なども必要になってくるのではないかと。

- 名寄市立大学に通う大学生は冬に徒歩で通学をしており、公共交通機関を利用することが多いが利用しづらいという声も聞く。各施設を公共交通でうまくつなぐことができればより名寄市が魅力を持つことができる。
- 駅前交流プラザよろーなや、市内のコミュニティバスは便利だと思うが、これをどう活用していくかが課題。
- 郊外にいる人たちがリフレッシュすることができるような活性化した中心市街地にしていきたい。
- 商業地域の空洞化がかなり進んでいるような印象を受ける。どの市町村もそうだと思うが、町の真ん中に人が住んでいないような状況。現在の都市計画マスタープランにはその部分の活性化についての方針がみられないので詳細的な説明がほしい。
- コンパクトシティを目指すにあたって複合施設が重要視される。中心地に保育所があれば職場、住宅ともに近く便利なのではないか。
- 施設の建替えには国の交付金を活用できるのか。
- コンパクトシティを目標にしているが、近頃郊外に住宅が建つことが多い。これはコンパクトシティにつながっているのだろうか。

～次回の開催内容について～

- 次回は9月開催を予定しており、今回の説明を踏まえたうえで名寄市の課題や問題を議論していきたい。

7. その他

8. 閉会